

実 技 試 験

☆☆☆解答に当たっての注意事項☆☆☆

- ・ 試験問題については、特に指示のない限り、平成26年10月1日現在施行の法令等に基づいて、解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に係る国税・地方税関係の臨時特例等の各種特例については考慮しないものとします。
- ・ 次の各問について答えを1つ選び、その番号を解答用紙にマークしてください。

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）の行為に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 投資助言・代理業の登録をしていないFPが、特定の上場会社が公表した業績予想を顧客に提示した。
2. 生命保険募集人の登録をしていないFPが、顧客から相談を受け、生命保険証券の見方について説明をした。
3. 税理士資格を有していないFPが、公民館の無料相談会において、相談者の持参した資料に基づいて、相談者が納付すべき所得税の具体的な税額計算を行った。

問2

下記は、佐野家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算結果は万円未満を四捨五入すること。

<佐野家のキャッシュフロー表>

(単位：万円)

経過年数			現在	1年	2年	3年
西暦(年)			2014	2015	2016	2017
平成(年)			26	27	28	29
家族・ 年齢	佐野 耕太	本人	47歳	48歳	49歳	50歳
	絵里	妻	45歳	46歳	47歳	48歳
	宏斗	長男	14歳	15歳	16歳	17歳
	未来	長女	12歳	13歳	14歳	15歳
ライフイベント		変動率	車の買替え	未来 中学入学	宏斗 高校入学	
収入	給与収入(夫)	1%	583			
	給与収入(妻)	—	240	240	240	240
	収入合計	—	823			
支出	基本生活費	2%	423		(ア)	
	住宅関連費	—	157	157	157	157
	教育費	—	65			
	保険料	—	48	48	48	48
	一時的支出	—	300			
	その他支出	—	50			50
	支出合計	—				
年間収支			(イ)	73		
金融資産残高		1%	632	711		

※年齢は各年12月31日現在のものとし、平成26年を基準年とする。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部空欄にしてある。

1. (ア) 431 (イ) ▲220
2. (ア) 440 (イ) 220
3. (ア) 440 (イ) ▲220

【第2問】下記の（問3）～（問6）について解答しなさい。

問3

下記は、経済用語についてまとめた表である。下表の経済用語に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

経済用語	主な内容
(ア)	生産や雇用など、さまざまな経済活動での重要かつ景気に敏感な指標の動きを統合することによって、景気の現状把握および将来予測に資するために作成された統合的な景気指標であり、内閣府が公表している。
(イ)	総務省統計局が実施している統計調査であり、一般世帯の収入・支出と貯蓄・負債などを調査している。調査結果は家計収支編と貯蓄・負債編に分けて公表され、個人消費の動向を捉えることができる。
(ウ)	内閣府が2000年から実施している調査で、景気に敏感な職業の人たちに協力を依頼し、生活実感としての景況感を把握する。「街角景気」ともいわれている。

1. 空欄（ア）に入る用語は、「消費者物価指数」である。
2. 空欄（イ）に入る用語は、「家計調査」である。
3. 空欄（ウ）に入る用語は、「全国企業短期経済観測調査」である。

問4

投資信託の運用スタイル・運用手法に関する次の記述の空欄（ア）～（エ）にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

<ul style="list-style-type: none"> ・（ア）運用とは、あらかじめ決めた運用目安となる指標（ベンチマーク）を上回る収益の獲得を目指す運用スタイルのことをいう。一般に（ア）運用では、（イ）運用に比べて、運用管理費用（信託報酬）などのコストが（ウ）なる傾向がある。 ・（ア）運用には、ファンドマネージャーやアナリストの調査・分析に基づいて個別銘柄の投資価値を判断し、その積上げによりポートフォリオを構築していく手法があり、これを（エ）アプローチという。
--

1. (ア) アクティブ (イ) パッシブ (ウ) 高く (エ) ボトムアップ
2. (ア) アクティブ (イ) パッシブ (ウ) 低く (エ) トップダウン
3. (ア) パッシブ (イ) アクティブ (ウ) 低く (エ) ボトムアップ

問5

下記<資料>に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

<資料>

WORLD MARKETS 1日	
日経平均株価 1万5326円20銭 ▲ +164円10銭 (+1.08%)	NYダウ 現地正午 1万6952.92ドル ▲ +126.32ドル (+0.75%)
円・ドル(東京) 101円51銭~52銭 ▲ 13銭安	円・ユーロ(東京) 138円99銭~139円03銭 ▲ 59銭安
長期金利 334回債 日本相互証券 0.550% ▼ -0.015%	ドバイ原油 現物、FOB、1/バレル、9月渡し 108.75~108.85ドル 限月変更で比較なし

(出所：日本経済新聞2014年7月2日付、1面)

- (a) は、7月1日のマーケットにおいて、日経平均株価が始値から終値までの間に164円10銭値上がりしたことを示している。
- (b) は、ニューヨーク証券取引所に上場している株式の株価指標（ダウ工業株30種平均）に連動するETF（上場投資信託）で、東京証券取引所で取引されている。
- (c) に入る用語は、「10年国債利回り」である。

問6

青山信義さんは、S A銀行（日本国内に本店のある普通銀行）に下記<資料>の預金を預け入れている。仮にS A銀行が経営破たんした場合、預金保険制度により保護される元本（最大金額）に関する次の記述の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる記述の組み合わせとして、正しいものはどれか。

<資料>

決済用預金	1,200万円
円定期預金	1,400万円
外貨建てMMF（豪ドル）	270万円

※青山さんはS A銀行において借入れはない。

- ・ 決済用預金については、（ア）。
- ・ 円定期預金については、（イ）。
- ・ 外貨建てMMF（豪ドル）については、（ウ）。

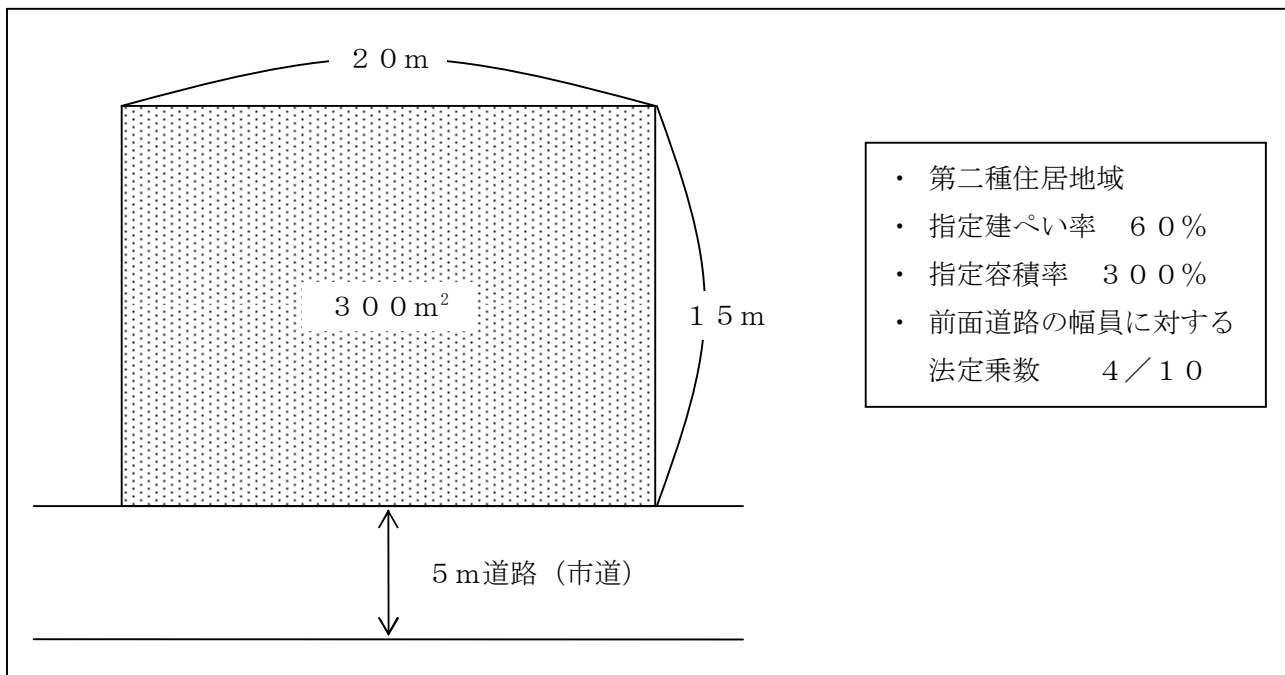
1. （ア） 1,200万円が全額保護される
（イ） 1,000万円が保護される
（ウ） 預金保険制度による保護の対象外である
2. （ア） 1,000万円が保護される
（イ） 1,000万円が保護される
（ウ） 270万円が全額保護される
3. （ア） 1,000万円が保護される
（イ） 1,400万円が全額保護される
（ウ） 預金保険制度による保護の対象外である

【第3問】下記の（問7）について解答しなさい。

問7

建築基準法に従い、下記<資料>の土地に建築物を建築する場合、この土地に対する建築物の建築面積の最高限度として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

<資料>



1. 180 m²
2. 600 m²
3. 900 m²

【第4問】下記の（問8）～（問11）について解答しなさい。

問8

荒木真司さんが加入している生命保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、真司さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険証券記号番号 ○○△△××□□	定期保険特約付終身保険			
保険契約者 荒木 真司 様	荒木 真司 様 契約年齢 30歳 (男性)		保険契約者印 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 荒木 </div>	◇契約日（保険期間の始期） 2007年3月1日 ◇主契約の保険期間 終身 ◇主契約の保険料払込期間 60歳払込満了
受取人 (死亡保険金) 荒木 友恵 様 (妻)	受取割合 10割			

◆ご契約内容 終身保険金額（主契約保険金額） 500万円 定期保険特約保険金額 1,500万円 特定疾病保障定期保険特約保険金額 300万円 傷害特約保険金額 100万円 災害入院特約 [本人・妻型] 入院5日目から 日額5,000円 疾病入院特約 [本人・妻型] 入院5日目から 日額5,000円 不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）手術給付金を支払います。 成人病入院特約 入院5日目から 日額5,000円 リビングニーズ特約 ※妻の場合は、本人の給付金の6割の日額となります。	◆お払込みいただく合計保険料 毎回 ××, ×××円/月 [保険料払込方法 (回数)] 団体月払い ◇社員配当金支払方法 利息をつけて積立 ◇特約の払込期間および保険期間 10年
---	---


荒木真司さんが、平成26年中に交通事故で死亡（即死）した場合、支払われる死亡保険金は、合計（ア）である。

1. 2,400万円
2. 2,000万円
3. 600万円

問9

福岡圭人さんが加入している医療保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、圭人さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険種類 医療保険（無配当）		保険証券記号番号 △△△-××××	
保険契約者	福岡 圭人 様	ご印鑑 	◆契約日 2005年6月1日 ◆主契約の保険期間 終身 ◆主契約の保険料払込期間 終身
被保険者	福岡 圭人 様 契約年齢 28歳 男性		
受取人	〔給付金受取人〕被保険者 様 〔死亡保険金受取人〕福岡 奈緒 様 *保険契約者との続柄：妻		
■ご契約内容			
給付金・保険金の内容	給付金額・保険金額	保険期間	
入院給付金	日額 10,000円 *病気やケガで1日以上継続入院のとき、入院開始日からその日を含めて1日目から支払います。 *同一事由の1回の入院給付金支払い限度は60日、通算して1,000日となります。	終身	
手術給付金	給付金額 入院給付金日額×10・20・40倍 *所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）手術給付金を支払います。		
死亡・高度障害保険金	1,000,000円 *死亡または所定の高度障害状態となった場合に支払います。		
■保険料の内容		■その他付加されている特約・特則等	
払込保険料合計 ×,×××円/月 払込方法（回数）：年12回 払込期月 : 毎月		保険料口座振替特約 *以下余白	

福岡圭人さんが、平成26年中にガン（悪性新生物）と診断され、7日間入院し、その間に給付倍率10倍の手術（1回）を受けた場合、支払われる給付金は、合計（ア）である。

1. 7万円
2. 17万円
3. 117万円

問 10

生命保険においては、従来どおりの保険料の払込みが困難になった場合に、解約をせずに保険契約を継続する方法がある。これらの方法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 保険料の払込みを中止し、その時点の解約返戻金で、従前の契約よりも保険金額の大きい定期保険に変更することを、「延長（定期）保険」という。「延長（定期）保険」に変更すると、保険期間は従前の契約よりも長くなる。
2. 保険料の払込みを中止し、その時点の解約返戻金で、保険期間を変えずに、従前の契約と同じ種類の保険または養老保険に変更することを、「払済保険」という。「払済保険」に変更すると、保険金額は従前の契約よりも小さくなる。
3. 保険料の払込猶予期間までに払い込まれなかった保険料に相当する金額を、その時点の解約返戻金の範囲内で、保険会社が自動的に保険料を立て替えて契約を有効に継続させることを、「自動振替貸付」という。

問 11

会社員の杉田直樹さんが契約している普通傷害保険の主な内容は、下記<資料>のとおりである。次の1～3のケース（該当者は杉田直樹さんである）のうち、保険金の支払い対象となるケースはどれか。なお、1～3のケースはいずれも保険期間中に発生したものである。また、<資料>に記載のない事項については一切考慮しないこととする。

<資料>

保険種類	普通傷害保険
保険期間	1年間
保険契約者	杉田直樹
被保険者	杉田直樹
死亡・後遺障害保険金額	5,000万円
入院保険金日額	5,000円
通院保険金日額	3,000円

※特約は付帯されていない。

1. 地震により倒れてきた柱時計の下敷きになりケガをして、入院した。
2. 35度を超える真夏の炎天下でテニスをしていて日射病にかかり、入院した。
3. 通勤時に駅の階段で足を踏み外して捻挫し、通院した。

【第5問】下記の（問12）について解答しなさい。

問12

牧村正樹さん（38歳・会社員）は妻のみどりさん（36歳・パートタイマー）と2人で暮らしている。牧村さん夫婦の平成26年分の所得等が下記＜資料＞のとおりである場合、所得税に関する次の記述の空欄（ア）、（イ）にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

- ・ 正樹さんの平成26年分の合計所得金額：800万円
 - ・ みどりさんの平成26年分の給与の収入金額：120万円
- ※正樹さんとみどりさんは同一生計である。

＜給与所得控除額の速算表＞

給与等の収入金額		給与所得控除額
162.5万円 以下		65万円
162.5万円 超	180万円 以下	収入金額×40%
180万円 超	360万円 以下	収入金額×30%+ 18万円
360万円 超	660万円 以下	収入金額×20%+ 54万円
660万円 超	1,000万円 以下	収入金額×10%+120万円
1,000万円 超	1,500万円 以下	収入金額× 5%+170万円
1,500万円 超		245万円

＜配偶者特別控除額の早見表＞

配偶者の合計所得金額		控除額
380,001円 以上	400,000円 未満	380,000円
400,000円 以上	450,000円 未満	360,000円
450,000円 以上	500,000円 未満	310,000円
500,000円 以上	550,000円 未満	260,000円
550,000円 以上	600,000円 未満	210,000円
600,000円 以上	650,000円 未満	160,000円
650,000円 以上	700,000円 未満	110,000円
700,000円 以上	750,000円 未満	60,000円
750,000円 以上	760,000円 未満	30,000円
760,000円 以上		0円

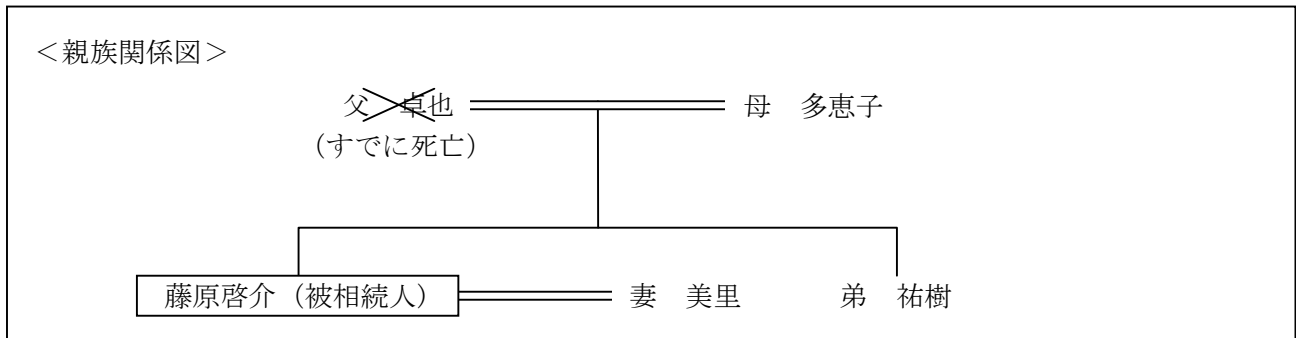
- ・ みどりさんの平成26年分の給与所得の金額は、(ア)である。
- ・ 正樹さんの平成26年分の人的控除に係る所得控除額は、基礎控除38万円と(イ)を合計した額である。

1. (ア) 55万円 (イ) 配偶者控除38万円と配偶者特別控除21万円
2. (ア) 55万円 (イ) 配偶者特別控除21万円
3. (ア) 65万円 (イ) 配偶者特別控除11万円

【第6問】下記の（問13）について解答しなさい。

問13

平成27年1月10日に相続が開始された藤原啓介さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。



1. 美里 2/3 多恵子 1/3
2. 美里 2/3 多恵子 1/6 祐樹 1/6
3. 美里 3/4 多恵子 1/4

【第7問】下記の（問14）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

和田浩一さんは、株式会社PWに勤める会社員である。浩一さんは、平成26年10月に第一子が生まれたこともあり、今後の生活設計についてFPで税理士でもある相原さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも平成27年1月1日現在のものである。

[家族構成（同居家族）]

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業
和田 浩一	本人	昭和56年 7月16日	33歳	会社員
敦美	妻	昭和59年 9月10日	30歳	会社員（※）
美咲	長女	平成26年10月25日	0歳	

※敦美さんは、現在、育児休業取得中である。

[保有資産（時価）]

（単位：万円）

金融資産	
普通預金	250
定期預金	150
財形住宅貯蓄	200
外貨預金	40
生命保険（解約返戻金相当額）	30

[負債]

なし

[マイホーム]

浩一さんは、財形住宅貯蓄200万円と、定期預金150万円のうち100万円の合計300万円を頭金とし、民間金融機関で2,200万円の住宅ローンを組み、2,500万円のマンションを購入したいと考えている。

[その他]

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。

問 1 4

F Pの相原さんは、和田家の（マンション購入後の）バランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答することとし、＜設例＞に記載のないデータについては一切考慮しないこととする。

＜和田家の（マンション購入後の）バランスシート＞

（単位：万円）

[資産]		[負債]	
金融資産		住宅ローン	×××
普通預金	×××		
定期預金	×××	負債合計	×××
財形住宅貯蓄	×××		
外貨預金	×××		
生命保険（解約返戻金相当額）	×××	[純資産]	(ア)
不動産（自宅マンション）	×××		
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1. 620（万円）
2. 670（万円）
3. 970（万円）

問 1 5

浩一さんは、平成27年中にマンションを購入して、住宅借入金等特別控除（以下「住宅ローン控除」という）の適用を受けたいと考えており、F Pの相原さんに住宅ローン控除について質問をした。相原さんの浩一さんに対する所得税における住宅ローン控除に関する次の説明のうち、最も適切なものはどれか。なお、購入するマンションは、認定長期優良住宅等には該当しないものとする。

1. 「給与所得者の場合、住宅ローン控除の適用を受ける最初の年は確定申告をしなければなりません。翌年以降は年末調整により住宅ローン控除の適用を受けることができます。」
2. 「給与所得者の合計所得金額が3,000万円を超えると、その年以降、合計所得金額が3,000万円以下になったとしても、住宅ローン控除の適用を受けることができなくなります。」
3. 「住宅ローン控除の適用を受けるためには、借入金の償還期間は5年以上でなければなりません。」

問 16

浩一さんは、マンション購入に備えて、財形住宅貯蓄（貯蓄型）を利用している。財形住宅貯蓄（貯蓄型）に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 勤労者財産形成促進法上の勤労者で、契約申込み時の年齢が55歳未満であれば、利用することができる。
2. 住宅取得のみならず、一定の要件を満たせば、住宅の増改築でも払出しをすることができる。
3. 財形年金貯蓄と合わせて元利合計385万円までの利子が非課税となる。

問 17

浩一さんと敦美さんは、今後15年間で積立貯蓄をして、長女の美咲さんの教育資金として250万円を準備したいと考えている。積立期間中に年利2%で複利運用できるものとした場合、250万円を準備するために必要な毎年の積立金額として、正しいものはどれか。なお、下記<資料>の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、解答に当たっては百円未満を四捨五入すること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

<資料：係数早見表（年利2.0%）>

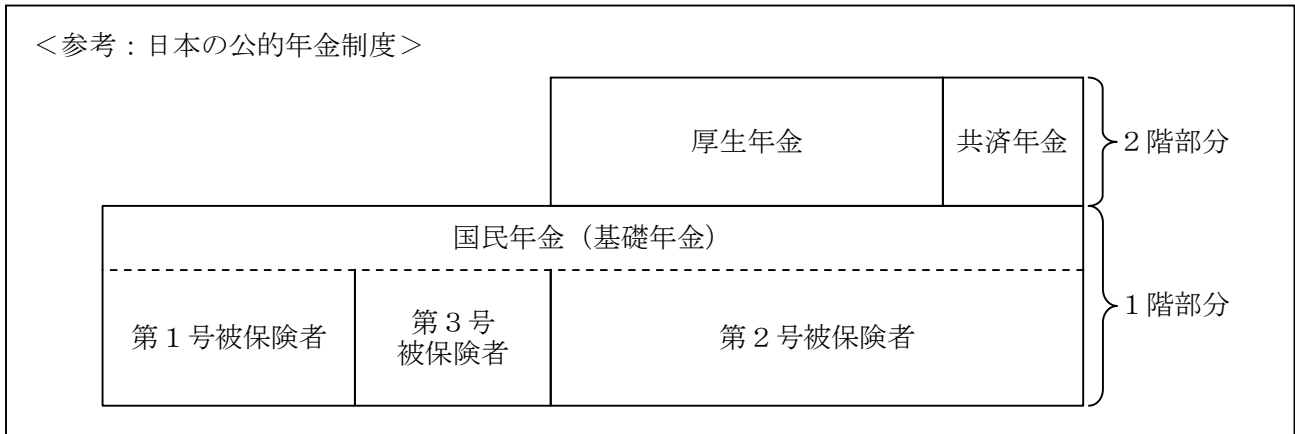
	現価係数	減債基金係数	資本回収係数
15年	0.74301	0.05783	0.07783

※記載されている数値は正しいものとする。

1. 123,800円
2. 144,600円
3. 194,600円

問 18

浩一さんは、日本の公的年金制度の仕組みについて理解を深めておきたいと思い、FPの相原さんに質問をした。次の記述の空欄（ア）、（イ）にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。なお、本問においては、厚生年金保険を「厚生年金」とする。



日本の公的年金は2階建ての構造になっている。

1階部分は「国民年金」であり、日本国内に住所を有する（ア）の人は加入が義務付けられている。老齢基礎年金の受給額は国民年金保険料を納付した月数によって決まり、480月（40年間）納付すると満額の老齢基礎年金を受給することができる。会社員や公務員は国民年金の第2号被保険者とされ、第2号被保険者の被扶養配偶者（主として第2号被保険者の収入により生計を維持する者）は国民年金の（イ）とされる。

2階部分は「厚生年金」と「共済年金」であり、老齢厚生年金の受給額は厚生年金の加入期間とそとの間の賃金に応じて決まる。このほか、企業によっては、従業員に対して独自の年金を支給する「企業年金」を設けているところもある。

1. (ア) 20歳以上60歳未満 (イ) 第1号被保険者
2. (ア) 20歳以上60歳未満 (イ) 第3号被保険者
3. (ア) 20歳以上65歳未満 (イ) 第3号被保険者

問 19

敦美さんは、浩一さんが万一死亡した場合、自分と子どもが生活していけるかどうか不安になり、FPの相原さんに相談をした。仮に、浩一さんが現時点（33歳）で死亡した場合、浩一さんの死亡時点において妻の敦美さんに支給される公的年金の遺族給付に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、浩一さんは、入社時（22歳で入社）から死亡時まで厚生年金保険に加入しているものとする。また、遺族給付における生計維持要件は満たされているものとする。

1. 遺族厚生年金が支給され、さらに中高齢寡婦加算額が加算される。
2. 遺族厚生年金と寡婦年金が支給される。
3. 遺族厚生年金と遺族基礎年金が支給される。

問 20

浩一さんの父の晴彦さんは、平成27年3月末に勤務先を定年退職する予定であり、定年退職後は任意継続被保険者として健康保険の被保険者の資格を継続したいと考えている。全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）の任意継続被保険者に関する次の記述の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

資格喪失日の前日まで（ア）以上被保険者であった人は、資格喪失日から起算して（イ）以内に申出をすることにより、退職後も引き続き（ウ）、健康保険の被保険者の資格を継続することができる。これを任意継続被保険者といい、保険料は全額自己負担とされ、原則として傷病手当金や出産手当金を受けることはできない。

1. （ア）継続して2ヵ月 （イ）20日 （ウ）2年間
2. （ア）継続して2ヵ月 （イ）14日 （ウ）3年間
3. （ア）通算して6ヵ月 （イ）14日 （ウ）2年間

模範解答

ファイナンシャル・プランニング技能検定 3級実技試験(資産設計提案業務)
平成27年1月25日実施

厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人(NPO法人)

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
3	3	2	1	3	1	1	1	2	1

問11	問12	問13	問14	問15	問16	問17	問18	問19	問20
3	2	1	2	1	3	2	2	3	1

{ 100点満点 } (各5点)